

事業活動実績報告書

施 設 名	和光幼稚園
教 育 理 念	「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う

1 事業名	運動あそび
2 実施期間	令和 7年 5月 1日 ～ 令和 8年 3月 19日

3	取組概要	（取組日） 令和 7年 5月 1日 ～ 【忍者ショー観覧＆実体験】 本園の60周年記念行事の一環として、忍者ショーを観覧した。本園では、今まで人形劇やクラシックコンサートを鑑賞することが多かったが、子ども達が忍者ショーを見ることで、アクロバティックな動きや剣裁き、手裏剣の投げ方等、間近でプロの体の動きを感じた。かっこいい！楽しい！自分もやってみたい！とその日から、折り紙で手裏剣をつくり、機敏な動きをまねたりして、忍者が何人も出没した。 	
		（取組日） 令和 7年 6月 9日 ～ 【アクティブプレイ・アーチ】 今年度の運動あそびのメイン教具は「揺れ」。遊んでいる間に自然と体幹に働きかけ、しっかりと姿勢を保てるようにしていけたらと思っている。年中児は、保育者が見守る中、アクティブプレイ・アーチにまたがり、揺れを楽しんでいた。この動きは、本園では初めて。保育者が体験しても、前のめりになってしまう、バランスを取ることが難しい分、楽しい教具だ。 	
		（取組日） 令和 7年 6月 11日 ～ 【アクティブプレイ・アーチ】 年長児は、保育者にアクティブプレイ・アーチのいろいろな遊び方ができるという説明を聴くと、自分たちで主体的に遊びだした。①またがり揺れを楽しむ②滑り台のように遊ぶ③馬飛びをする④ぐる⑤上って渡る⑥また戻って滑り台のように滑る 6通りほどの遊び方を行っていた。傍らでは、ずっと①またがって揺れて遊ぶ子ども達もいた。友達と「次は〇〇にしようよ！」などと上手にコミュニケーションを取りながら楽しむ姿があった。 	
		   	

3	取組概要	(取組日) 令和 7年 10月 29日 ~ 【ボール運びリレー】(運動会・クリスマス会など) 安定感の少ないシートの上にボールを乗せて運ぶ。グラグラ揺れるので、子ども達はバランスを取りながらボールを運んでいく。運動会では、年長児が親子でボール運びリレーをして楽しんだ。初めての動きだったが、練習時から楽しめていた。クリスマス会では、雪だるま運びゲームに活用した。年長児は小さな子ども達に配慮し、体を低くしながらバランスを保って雪だるまが落ちないように運んでいた。	
		(取組日) 令和 8年 1月 13日 ~ 【ロディ】 ロディは、子どもたちに大人気である。前に進むには、座った状態で自分でジャンプをしながらロディを持ち上げて進む。満3歳児たちは、初めてまたがった時に、ほとんどの子が後ろにひっくり返ってしまった。前傾姿勢を保ちながら前に進むことが、小さな子どもにとって難しいことがわかった。体幹でしっかり支えることが大切であると感じた。逆に前に進む気持ちが強いと前に転んでしまう。バランスを取ることに役立ちそうである。	
		(取組日) 令和 8年 1月 13日 ~ 【アクティブプレイ・アーチ】 3学期、年長児は友達と楽しく会話しながら、あそびを発展させていた。アクティブプレイ・アーチを他の遊具と組み合わせて豪快にジャンプしたり、難易度の高いバランスの取り方に挑戦し楽しむ姿が見られた。	  
		(取組日) 令和 8年 1月 13日 ~ 【サッカーゴール】 新しいサッカーゴールが来ると、子ども達はすぐさまサッカーゴールを使って遊びだした。以前あったものは、子ども達の力では設置しにくく、ゴール無しで門に向かって蹴る姿も見られた。子ども同士で順番などを話し合いながら、安全に楽しく、遊ぶ姿が多く見られた。	
		(取組日) 令和 8年 1月 13日 ~ 【スポーツスタンド】 ボール・フラフープなどを片付けられるスポーツスタンド。遊んだら片付けるという生活習慣を身につけることに役立っている。また、コンパクトに納められるので、園庭で遊ぶ場所を確保でき、子ども達は安全に遊ぶことができていた。	

3	取組概要	(取組日) 令和 7年 5月 ~	
		【ラバーリング・ラバーライン】 ラバーリング、ラバーラインは、以前購入し、子ども達も保育者も遊びや活動の中で毎日使用している。ゲームの範囲を囲んだり、目印になったり、時には食べ物になったり、その時々で、用途は違うのだが、今回、数を増やしたことで、あそびが広がり、イメージ通りの遊びができたり、友達と相談してイメージを膨らませながら楽しく遊んでいる姿があった。「ケンケンパ」なども長く作れるので、楽しみながら運動する機会も増えた。	
			
		(取組日) 令和 7年 11月 ~	
		【つなっきー】 本園の子ども達は普段引っ張るという動きをあまりしていない。今年度の「運動あそび」の活動や体操教室で、つなっきーで綱引きを行ってみた。子ども達は大喜び。でも腰を落として「引っ張る」動作は、まだ難しそうだった。	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの		

効果検証報告書(継続事業用)

施 設 名		和光幼稚園				
教 育 理 念		「健康」と「表現」の領域を2大柱とし、子どもの心身ともに健やかな成長と、個性豊かな感性を養う				

計 画 時	事業の区分(5領域)		幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
			健康 ◎	人間関係 ○	環境 ○	言葉 ○	表現 ○
	1 事業名		運動あそび				
	2 事業概要		日々の保育や体操教室で活用できる教具を新たに購入し、子どもたちの運動能力のさらなる発達・向上を促進していく。				
	3 対象学級(クラス名) 対象人数		全学級 (クラス名:)			54 名	
事業後	4 実施体制		取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況				
			室内や園庭での、運動あそびに関する新しい教具を導入し、運動能力の向上を促進する遊びを、日々の保育(活動や自由遊び)では各クラスの保育者が実施、体操教室では、講師が実施する。昨年度より、「運動あそび」をカリキュラムに組み込み、子ども達が楽しく遊びながら、体を動かすことに繋げている。				
	4についての効果・検証		事業実績から推測される効果や改善点等				
計 画 時	5 事業のねらい		本園は、「健康」と「表現」の領域を教育の2大柱とし、子どもたちの心身ともに健やかな成長を促すとともに、個性豊かな感性を養っていくことを特色としている。 「健康」の保育をより充実させるために、一昨年度は室内(主にホール)に新たな教具を導入し、運動あそびの環境を整えたことで、室内においても、今までに体験したことのない体の動かし方や持久力を高めるあそびを増やすことができた。昨年度は、室内にとどまらず、園全体の運動あそびの環境を整え、新たな教具を取り入れた楽しい運動あそびを行う中で、身体の動かし方や持久力を高めることができた。今年度は、正しい姿勢を保つための、そして、幼児期の発達において大切な体幹やバランス感覚に着目し、楽しく体を動かす中で、身体と心の発達を促進していきたい。				
			事業実績から推測される効果や改善点等				
	5についての効果・検証		幼児期は、動きを獲得していく大切な時期である。本園では、2022年に「幼児期に習得しておきたい36の動き」について園内研修を行い、本園の園児が幼稚園生活の中でどのような体の動きを行っているのか、またどのような動きがあまり行われていないのかを検証した。その検証をもとに、大きめのソフト・ブロックで「積みあげる」、「くずす」、「はこぶ」などの動きをする環境を整え、マットやトランポリンで、子ども達が楽しく全身運動ができる環境を整え、昨年度は、体の動きや体幹、持久力に注目した教具を選び、子ども達が自由遊びの中で、楽しみながら、また創意工夫を行いながら、主体的に体を動かす機会を増やした。今年度は、正しい姿勢を保つための、そして、幼児期の発達において大切な体幹やバランス感覚に着目し、楽しく体を動かす中で、身体と心の発達の促進に繋げている。また、「運動あそび」では、運動能力や持久力の向上とともに、コミュニケーション能力や創意工夫のできる活動、非認知能力を向上させる保育を取り入れることができた。				

計画時

6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等
	運動あそびにおいて体幹やバランス感覚に着目した教具を新たに導入し、日々の保育においてさらに多くの運動あそびを楽しんで行う アクティブプレイ ソフトアーチ：アーチのくぼみの部分に座って木馬のように遊んだり、橋のように置いて登って遊んだり等置き方によって2種類の使い方ができる。「揺れる」ことで、バランス感覚を培い、体幹を培うことに繋げる。 ロディ：遊びながら運動神経やバランス感覚を養うことができる。2歳から使用することもできるの で、満3歳児から楽しく遊ぶ中で体を動かすことにも繋げていきたい。 ミニロープ つなっきい(ミニ綱引き)：3mの短い綱引きロープなので、ホールや園庭で手軽に綱引きを楽しむことができる。「ひく」という動きは園生活の中であまりない動きであることと、「握る力」(和太鼓にも通じる動き)を遊びの中で培いたい。 ステップラバーリング&ライン：すでに園にある教具であるが、子ども達にとって大変使いやすく、いろいろな遊びの中で自由自在に工夫して楽しく遊ぶツールになっているので、数を増やすことで遊びを広げ、より楽しく運動あそびができる。 スポーツスタンド：教具が増え、子どもの運動あそびも充実してきたが、今後も子ども達が広いスペースを確保した上で、安全に楽しく運動あそびを行えるように、必要である。
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点
	健康の領域の(2)いろいろな遊びの中で十分に体を動かす、という「内容」に関して、本園では、週1回の体操教室の他に、週1回の乾布摩擦とマラソンを保育に取り入れ、「健康」の領域に特色をもった教育に長年取り組んできている。ここ数年は、子どもの体力や運動能力の低下を懸念し、室内(主にホール)あそびにおいての運動あそびの充実や遊びの中で楽しく体を動かす(室内外問わず)ことを目指し、より多くの運動あそびが行える子どもの興味や能力に応じた環境を整えたことで、子ども達が日常的に十分に体を動かす心地よさを味わいながら、主体的に身体を動かす姿が多くみられるようになった。また、昨年度からは、カリキュラムの中に「運動あそび」を取り入れたことで、さらに楽しく体を動かせるように取り組みを発展させてきた。

事業後

6についての効果・検証

事業実績から推測される効果や改善点等

今年度は、本園の体操教師と話し合いを重ね、幼児期に重要な体幹やバランス感覚に着目し、「揺れる」教具を中心に取り入れることで、より楽しみながら運動あそびを発展させたいと考えた。運動あそびにおいて体幹やバランス感覚に着目した教具の導入で、日々の保育においてさらに多くの運動あそびを楽しんで行うことができた。

アクティブプレイ ソフトアーチ：子ども達は、実際にアーチのくぼみの部分に座って木馬のように遊んだり、橋のように置いて登って遊んだりしていた。くぼみの部分に足でバランスを取りながら立って「揺れる」子もあり、バランス感覚を培い体幹を培う機会になった。

ロディ：満3歳児から年長児まで、楽しく遊びながら運動神経やバランス感覚を培うことに有効だった。

ミニロープ つなっきい(ミニ綱引き)：年中児・年長児がホールや園庭で手軽に綱引きを楽しんでいた。ただ、「ひく」という動きは園生活の中であまりない動きなので、遊ぶ機会を増やして体の使い方を伝えていきたい。同時に遊ぶ中で「握る力」もつけていきたい。

ステップラバーリング&ライン：すでに園にある教具であるが、大変使いやすく、自由自在に工夫して楽しく遊ぶツールになっている。数を増やしたことで、遊びに広がりができ、より楽しく運動あそびができています。

スポーツスタンド：購入したことで、子ども達が広いスペースを確保した上で、安全に楽しく運動あそびを行えている。

サッカーゴール：片足でボールを蹴るという事は、バランスを必要とする。新しくサッカーゴールを購入したことで目標が定まり、より強い力でバランスを取りながら蹴ることができるようになった。

計画時

7 環境構成例	室内(主にホール遊び)や園庭あそびの際に、周りの安全環境を配慮した上で、アクティブプレイ ソフトアーチ、ロディ、ミニロープ つなっきい、ステップラバーリング&ラインなどを活動に応じて配置し、年齢にあった「運動あそび」の保育の中で活用する。また、日々の自由あそびの中でも子ども達が使用できる環境を整える。今年度も、体操教室の講師が、体操教室中にこれらを使用した活動を取り入れたり、講師に自由あそびにも参加してもらい、これらを取り入れたあそびを専門家が一緒に行うことで、より適切に身体を使うことができたり、運動の幅が広がり、子どもたちが体を動かす楽しさを知ることができ、運動あそびをする機会を増やすことで、運動能力を培うことを目指す。
---------	--

事業後

7についての効果・検証

事業実績から推測される効果や改善点等

室内(主にホール遊び)や園庭あそびの際に、周りの安全環境を配慮した上で、アクティブプレイ ソフトアーチ、ロディ、ミニロープ つなっきい、ステップラバーリング&ラインなどを活動に応じて配置し、年齢にあった「運動あそび」が行えていた。日々の自由あそびの中でも子ども達が使用できる環境を整えた。今年度も、体操教室の講師に、体操教室中や自由あそびの中で、これらを取り入れたあそびを行ってもらった。専門家が一緒に行うことで、より適切に身体を使うことができたり、運動の幅が広がり、子どもたちが体を動かす楽しさを知ることができた。専門家ならではの視点で、子どもたちが体を動かす楽しさを知ることができた。

計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 運動あそびで育つスキル・体力・能力として、以下のことが期待される アクティブプレイ ソフトアーチ 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・平衡系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 筋力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 創造力をもって主体的・協働的にあそぶ姿も期待できる。 ロディ 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・操作系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 瞬発力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 ゲーム時間を延ばすことで持久力も高まる。 ミニロープ つなっき 乳幼児期に必要な4つの運動スキル → 移動系運動スキル・操作系運動スキル 身体を動かす10の体力 → 瞬発力・平衡性・柔軟性・巧緻性 運動時に育つ能力 → 身体認知力・空間認知能力 ステップラバーリング&ライン いろいろな遊びの中で工夫して楽しく遊ぶことができる
	事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 【乳幼児期に必要な4つの運動スキルによる検証】 アクティブプレイ ソフトアーチ 移動系運動スキル: 這う・飛ぶ・走る等の姿(瞬発力・空間認知力・スピード感覚が培われる) 平衡系運動スキル: 高いところに立つ・姿勢を維持する姿(バランス・平衡感覚・身体認知力が育つ) 創造力をもって主体的・協働的にあそぶ姿が見られた。 ロディ 移動系運動スキル: 座りながら飛ぶ、前に踏み出す姿(全身の筋肉を高める・瞬発力・身体認知能力・空間認知力が培われる) 操作系運動スキル: 持って飛ぶ姿(目と手と足を同時に動かす協応性や正確に動かすための巧緻性が培われる) 乗る時間を延ばすことで持久力も高まる。 ミニロープ つなっき 移動系運動スキル: ひく(瞬発力・平衡性・柔軟性・巧緻性が培われる) 操作系運動スキル: 持ちながら引っ張る(身体認知力・空間認知能力が培われる) 非移動系運動スキル: 引く、支える(筋力や持久力が高まり、がんばる心が育つ) ステップラバーリング&ライン いろいろな遊びの中で工夫して楽しく遊ぶことができる。 創造力をもって主体的・協働的にあそぶ姿が見られた。
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 本園は、体操教室や乾布摩擦、マラソンを保育に取り入れ、「健康」の領域に特色をもった教育に長年取り組んでいるが、近年、子どもの体力や運動能力の低下を懸念する状況にある。本園では、以前は運動あそびは主に園庭で行っていたが、コロナ禍を機に、室内(主にホール)あそびにおいても運動あそびの充実を目指し、環境を整えてきた。(幼児期に習得しておきたい36の動き)をもとに、本園の園児が園生活において、習得しにくい動きを検証し、新しい教具を導入していたが、今年度は、健康の領域における子ども達のさらなる成長発達を培うために、本園の体操教師と話し合いを重ねながら、幼児期に重要な体幹やバランス感覚に着目し、「揺れる」教具を中心に取り入れた。子ども達が「楽しい！」という気持ちをもちながら、あそびの中で主体的、協働的に身体を動かしている姿が多くあった。幼児期は、運動能力のプレゴールデンエイジにあたり、多種多様な動きを経験することで神経系が発達していく、という大切な時期である。「楽しい！」と感じながら、日常のあそびの中で子ども自身が主体的に運動あそびを行い、楽しく生き生きと楽しんで体を動かすことが増えている。この取り組みは、子ども達が経験を積むことで、さらなる子どもたちの成長と運動能力の向上に繋がるものだと考えており、引き続き子ども達の運動する機会を増やしていきたい。また、この事業の効果検証としては、今年度も「健康」のみならず、協調性(人間関係)、協同性、思考力の芽生え、創意工夫、言葉、表現・・・と、あそびの中での運動は、多岐にわたり子どもの成長を促す効果をもたらしていることが実感できた。実は、今回「運動あそびのカード」が購入のみに留まってしまった。研修を受けた際、とても有意義に思って購入したが、実際に使う段階になると活用の仕方がわからなくなってしまったからである。来年度は、制作者に園内研修に来てもらい、専門家の観点から幼児期の運動あそびについて教えていただく予定にしている。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。